



北区立浮間中学校 学校だより

令和元年11月20日
第9号(60周年記念号)

文責
校長 奥村 宏

◆創立60周年記念式典 11月9日(土)

多くのご来賓の皆様にご臨席をいただき、創立60周年記念式典を挙行了しました。式典は、「浮間中学校らしい、厳粛な中にも温かみのある素晴らしい式典でした」と声を掛けていただきました。また、第2部の生徒発表では、6組の動画、学年合唱、吹奏楽部の演奏に、「感激しました」との感想を数多くいただきました。

ご臨席いただきましたご来賓の皆様、PTAの皆様、前校長松本洋人先生はじめ、旧教職員の皆様、ありがとうございました。今後とも浮間中学校にご支援賜りますようお願い申し上げます。



式典の様子



生徒代表のこたば



校歌指揮



6組発表



1学年合唱



2学年合唱



3学年合唱



吹奏楽部演奏

式 辞

菊花香る良い季節を迎えました。本日ここに、創立六十周年記念式典を挙げるにあたり、北区長 花川 與惣太様、北区議会議長 渡辺かつひろ様、北区教育委員会教育長 清正浩靖様をはじめ、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、盛大に挙げるできますことを、在校生及び教職員とともに、心より御礼申し上げます。

本校は、昭和三十四年四月一日、東京都北区立浮間中学校として開校し、本年、六十周年を迎えました。しかし、開校の二年前から、浮間中学校の歴史はすでに始まっていました。当時の資料にはこのように書かれています。

「それは、昭和三十二年十月十七日のことです。北中（現在の桐ヶ丘中）在学の一年生百十三名が、英語科の難波先生に引率されて、威風堂々と正門を出て行った。そしてこの生徒たちは、この浮間中学校に到着した。そして静かに開校式が開かれた。参列した先生は数名。保護者は三十名ほどであった。開校記念日は、この日を記念して決定された。当時の生徒は、浮間中学校に誇りをもっていた。悪いこともしたが、勉強もよくした。そして本当によく働いた。」映画になりそうな、開校当時のエピソードです。それから数年間は、校庭の雑草取り、体育館の建設など、教育環境の充実に力を注ぎました。十年ひと昔と言いますが、創立十周年の頃には、落ち着いた学校生活を送られるようになりました。

浮間中学校は、この六十年間、歴史と伝統を築いてきました。言うなれば、人生六十年の還暦を迎えたこととなります。今では、人生百年時代といわれています。七十周年、八十周年、九十周年と新たな歴史と伝統を育み、やがて百周年を迎えることでしょうか。在校生、卒業生、保護者、地域の方々は、浮間中学校に誇りをもっています。そして、これからも誇りを持ち続けていきます。

来年の四月からは、新校舎での生活が始まります。浮間図書館、浮間子ども・ティーンズセンターとの複合施設です。充実した蔵書数、放課後の活動にも利用が期待されています。施設は立派になりますが、そこで生活する生徒の皆さんは、どのような気持ちで学校生活を送るのでしょうか。初代生徒会長 岡部由男さんの、生徒会誌「あしあと」創刊号のあいさつ文をご紹介します。

「現在の一年生、二年生の人たちが入学してきてからは、学校も目に見えて立派になってきました。最近では、区内一といわれるほど立派な放送設備もできました。ただ設備だけが良いというだけでなく、中で勉強している生徒も同じように、すばらしい生徒だといわれるように努力してください。来年度には、新しく三年生に進級される皆さんの中から立派な生徒会長を選び、この浮間中学校の校風と伝統をより良いものに作り上げていってください。」

「浮間中学校で良かった」と生徒の誰もが思う学校をこれからも目指します。生徒の皆さんは、勉強に励むのもよし、部活動で思いっきり心や体を鍛えるのもよし、中学校生活、三年間を有意義に過ごしてください。そして、今日が新たなスタートを切る機会としてください。

ご来賓の皆様には、今後も浮間中学校に、ご理解・ご支援を賜り、本校生徒の活躍にも、お心を寄せていただければ幸いです。改めて、本日は、本校の創立六十周年記念式典にご臨席賜りありがとうございます。

以上をもって、式辞とさせていただきます。

令和元年十一月九日

北区立浮間中学校長 奥村 宏

生徒代表の言葉

私たちの通うこの浮間中学校は、今年六十周年を迎えました。この節目の年を在校生として迎えることができ、嬉しく思うとともに、この機会に、改めて日頃からお世話になっている地域の方々や保護者、先生方に心より感謝いたします。

一九五九年に開校してから六十年を迎える現在まで、先輩方が代々積み重ねられてきた歴史と伝統があると考えると、この記念すべき年に最上級生であることに、嬉しさとまた、責任を感じます。

六十年もの歴史と伝統があるこの浮間中学校は、行事に積極的に取り組める生徒が多い学校だと私は思います。例えば、五月に行われた体育祭ではクラスの仲間ひとりひとりの想いをバトンに繋ぎ走った全級リレーや、頑張る仲間を応援し、喜びを分かち合った個人種目。これを機にクラスが団結したように感じました。十月に行われた文化祭の合唱では、練習を重ねていくうちにそれぞれの気持ちが同じ目標に向かうようになり、学年合唱やクラス合唱を完成させていきました。本気で努力したからこそ、思いっきり喜べたクラスも、涙を流したクラスもありました。舞台発表では、文化祭を成功させるために遅くまで残って準備してくれた実行委員や、全校生徒に伝えるため、楽しんでもらうために練習してきた各団体の努力の甲斐もあって、とても盛り上がりました。行事を行うごとに学年やクラスの一体感が高まっていくなどの浮間中学校の良さが、これから先、何十年も引き継がれ、さらに良いものとして発展していくことを願っています。

さて現在、隣では新校舎の建設が順調に進んでいます。私たち三年生は新校舎で過ごすことができませんが、一・二年生が来年の四月から、新校舎での生活を始めます。新校舎には区立図書館やティーンズセンターなどの施設も入るので、今よりも地域の方々に関わる機会が増えます。この浮間地区のあたたかい地域性と、その中で育まれてきた浮間中学校の伝統が融合し、地域の方々や浮間中学校の生徒が、恵まれた環境の中で充実した生活を送ることができると思います。また、これから社会に出る三年生は、この三年間で学んだことや、今までたくさんの方々から支えられた恩を返す番です。社会の一員として、また地域の一員として、自分たちにできることを探し、新しい未来を創っていきたくです。

最後になりましたが、本日お越しの花川区長はじめご来賓の皆様、地域の皆様、先生方、いつも私たち浮間中生を見守り、支えてくださってありがとうございます。私たちも皆様のように地域を守り、支えられる存在になれるよう努力いたしますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和元年十一月九日

生徒代表 ○○ ○○